

平成23年度 校内研修計画

1. 見附小の教育信条

実生の輝きをつくろう！見つけよう！

「実生の輝き」の意味するところ

実生：つぎ木やさし木に対して、種から発芽して生長すること。また、種から生長した草木。(国語辞典より)

- ① 「見小」と「実生」をかけている。
- ② 実生の意味を目の前の子どもたちに当てはめたときの子どもたちの生き生きと輝く姿、子どもたちの成長・変容・喜び。
- ③ 子どもたち一人ひとりの成長・育ちをうながす日々の指導・取組のあり方。
- ④ 見附小学校のこれまでに築き上げてきた文化・財産の発展。

教師の構えとして、これらのことを生み出すことを常に意識しながら毎日の学習指導にあたっていく。

2. 研究主題

主体的に学習に取り組み、「分かる・できる」喜びを味わう子どもの育成
～「授業のユニバーサルデザイン」化に着目して～

3. 研究主題設定の理由

(1) 平成22年度の研究内容

昨年度は平成21年度までの研究を継続・発展させ、思考力・判断力・表現力の育成に重点的に取り組んだ。各教科における言語活動の充実を図りながら、言語を手がかりとして論理的に思考する力を高めたいと考え、以下の3つのテーマを柱に授業改善に取り組んだ。

- ① 問題解決学習を目指す授業実践
- ② 言語活動の充実を図る各教科の実践
- ③ 論理的な思考を支える Thinking tool を活用した実践

※ Thinking tool とは、イメージマップ、関連図、チャート、問題解決図、サイクル図、分析表など。

(2) 研究の成果と課題

昨年度のまでの研究を通して、論理的に思考する力を高める要件として、次の3つのことが大切であることが明らかになった。

- ① 子どもの問いや願いを大切にすること。また、問いが連続するような授業や単元構成を工夫すること。
- ② 話型指導の工夫や、メモ、記録、要約、説明、報告等の言語活動を取り入れた単元構成の工夫を発達段階に応じて行うこと。

③指導内容、追究方法にふさわしい Thinking tool を活用すること。また、電子黒板の活用を工夫すること。

また、自主学習の推奨、学年テストやチャレンジタイムにおける習得サイクルの工夫、読書活動の推進により、基礎的・基本的な内容の確実な理解と定着を図ってきた。

しかし、各種テストや子どもの実態を分析した結果、以下の課題が明らかになった。

- ・基礎的・基本的な内容の確実な理解と定着をより一層図ること。
- ・学年・学級間に見られる学力の特徴的な差を解消すること。
- ・日々の質的な授業改善とそれを全校体制で進めるシステムを構築すること。

これまでの成果を踏まえるとともに、上記の課題を解決するため、子ども一人一人の主体的な学びを通して、基礎的・基本的な内容の確実な理解と定着を図る学習指導に重点をおきたいと考え、本研究主題を設定した。

(3) 「授業のユニバーサルデザイン」化について

本研究主題に迫るために、「授業のユニバーサルデザイン」化に着目したい。「授業のユニバーサルデザイン」とは、以下のことを指す。

学力の優劣や発達障害の有無にかかわらず、全員の子どもが「分かる・できる」喜びを味わうための授業の工夫と配慮

更に、「授業のユニバーサルデザイン」を次の3つに分類する。

- ①教室環境のユニバーサルデザイン（掲示物、机配置等）
- ②授業の基本技術のユニバーサルデザイン（発問・指示、板書の仕方、学習ルール等）
- ③単元のねらいに迫るためのユニバーサルデザイン（単元構成の工夫、教材の工夫、学習課題の工夫、言語活動の工夫、グループ・ペア学習等）

このような「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れ、日々の授業を改善していくことで、一人一人の子どもが「分かる・できる」喜びを味わえる授業を具現し、基礎的・基本的な内容の確実な理解と定着を図りたい。

4. 研究内容

基礎的・基本的な内容の確実な理解と定着を図ることを重点に、授業実践を通して以下のことを全校体制で研究していく。

(1) 「授業のユニバーサルデザイン」化の理論とその具体。

(2) 基礎的・基本的な内容の確実な理解と定着の過程で必要な、思考力、判断力、表現力を育成する言語活動の在り方。

また、日常の以下の取組を見直し、改善していく。

(3) チャレンジタイム、学年テストの運営の方策。

(4) 算数における T.T、少人数指導の実施方法。

(5) 子どもが力をつける自主学習、読書活動の在り方。

(6) Web 配信テスト、サポート問題の活用の在り方。

5. 研究方法

(1) 授業実践のテーマ

以下の3つのテーマで授業実践を行う。

- ①「分かる・できる」国語科の授業づくり
- ②「分かる・できる」他教科の授業づくり
- ③言語活動を生かした思考力、判断力、表現力を育成する授業づくり

(2) グループ公開授業と個人公開授業について

①グループ公開授業（後日調整、変更あり）

A3裏表の指導案を書く。事前検討会と外部指導者を招いた協議会をもつ。

第1回	6～7月	①国語（2年）	②他教科（特支）
第2回	9月	①国語（5年）	②他教科（4年）
第3回	10月	①他教科（1年）	②思考力（3年）
第4回	11月	①思考力（6年）	

②個人公開授業

個人の計画に沿って、公開授業を行う。指導案（A4で1～2枚）を作成し、全員に配布する。協議会は行わない。参観者は、メモないしレポートを授業者に渡す。

(3) 評価の仕方

- 公開授業・協議会、及び日常の授業において、子どもの姿を見取り、基礎的・基本的な内容の確実な理解と定着を評価する。
- 学習意欲や理解度をみる意識調査（学校評価アンケート）を実施し、その分析から評価する。
- NRTや全国学力調査等の各種テストの結果を分析し、評価する。

6. 全体研修の日程

- ① 4月11日（月） 研究計画の共通理解、学力調査の分析と対策
- ② 4月25日（月） 学力を支える諸活動についての共通理解
- ③ 6月20日（月） 第1回グループ公開授業の指導案検討
- ④ 7月 4日（月） 第1回グループ公開授業
- ⑤ 8月 1日（月） 特別支援教育研修
- ⑥ 8月 8日（月） 市教委訪問Ⅱ 生徒指導・特別支援
- ⑦ 8月19日（金） 見中・西中学区小中合同研修会
- ⑧ 9月 5日（月） 第2回グループ公開授業の指導案検討
- ⑨ 10月 3日（月） 第2回グループ公開授業
- ⑩ 10月17日（月） 第3回グループ公開授業（市教委訪問Ⅰ）の指導案検討
- ⑪ 10月30日（月） 第3回グループ公開授業（市教委訪問Ⅰ）
- ⑫ 11月（日程未定） 第4回グループ公開授業（算数授業研修）
- ⑫ 12月26日（月） 学力向上研修
- ⑬ 1月 6日（金） 学力向上研修
- ⑭ 2月 6日（月） 本年度の研究のまとめ

*上記以外にもユニバーサルデザイン、電子黒板の活用、評価資料作成ソフト等の研修を行う予定である。